

## 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立和光南特別支援学校	Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	特別支援学校としての使命や学校の現状や課題などを踏まえた学校像として設定されている。長らく同じ学校像が続いているので、「一人ひとりのニーズに応じた適切な教育」や「生きる力」の意味するところを再定義するなど、より明快かつ具体的な学校像としていただきたい。
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	端的に短くまとめられた重点目標であるが、やや抽象的で何を達成すべきかという具体的なイメージがつかみづらい。目指す学校像とともに長らく見直しが行われていないことから、保護者や地域の期待、児童生徒の実態や学校内外の環境分析を踏まえ、中期的視点に立ち、課題の解決に向けたより具体的かつ重点化された目標を設定することが望まれる。
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	分掌・委員会シートが作成され、学部や指導グループごとに詳細な「経営案」が作成されるなど、それぞれの学部・分掌で精力的に取り組んでいる。学校自己評価システムを運営するための組織体制がやや不十分であるので、分掌、学部や指導グループ間の連携を強化するとともに、教職員一人一人が高い参画意識をもって組織的に取り組むよう更に工夫していただきたい。
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	重点目標の達成に向け、分掌・委員会のシートが作成され、年間計画や年度反省に取り組んでいる。学部中心で取り組んできた実践検討会から学校全体で取り組む「研究」へと進化発展させるなど、方策のブラッシュアップが図られている。学校全体の目標と連鎖させて、更に組織的に課題の解決に取り組めるようにすることが望まれる。
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長の経営方針、取組や改善の意向を教職員に示すとともに、「グランドデザイン」として分かりやすくまとめている。校長の的確なリーダーシップの下、学校改善の方向性を浸透させるため、教職員の共通理解を一層深め、個人と組織の力を組み合わせて、学校の教育力向上のために取り組んでいくことが期待される。
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	保護者アンケートなどを実施し、寄せられる意見・要望等に対して「回答集」を作成してフィードバックするなど、保護者との丁寧な対話に努めている。学校自己評価システムシートを有効に活用して、前年度の達成状況の検証を適切に行った上で、方策の見直しを検討するなど、改善のスパイラルアップを図るよう取り組んでいただきたい。
特記事項		